

教育研究評議会議事録

令和5年9月13日(水)
15時15分から16時45分まで
法人本部3階 第一会議室

出席者
議長
評議員

玉手英利(学長)
飯塚博 出口毅 矢作清 根本建二 花輪公雄 瀧瀬晃(理事)
大森桂 羽鳥政男(副学長)
是川晴彦 本多薫
中西正樹 津留俊英
並河英紀 宮地義之
上野義之 鈴木民夫
黒田充紀 今野博行
村山秀樹 渡部徹
伊藤浩志 三上英司
土谷順彦

陪席者

監事 渡辺均 大森夏織
小白川キャンパス長 大西彰正
学長補佐 森岡卓司 松本大理 福田素久 村上正泰 多田隈理一郎 林雅秀

欠席者 林田光祐

1 教育研究評議会議事録(7月12日開催)の確認

玉手学長から、前回7月12日開催の本会の議事録(案)について確認があり、議事録が了承された。

2 【協議】国立大学法人山形大学教育研究評議会規程等の一部改正について

学長から、役員、副学長、教育研究評議会評議員等の女性比率目標20%以上の実現、及び学長選考・監察会議委員が選出される基となる教育研究評議会に、各学部から推薦された評議員が参画するために、国立大学法人山形大学教育研究評議会規程等の一部改正することについて審議願うものである旨説明があった。

次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、本会での意見を踏まえ、改めて審議することとなった。

本件に係る主な意見及び質疑応答は以下のとおり。

- ・ 8号委員は准教授でも良いのか。
- ・ 准教授でも構わないと考えているが、本会での意見交換を踏まえ検討したい。
- ・ 並行して女性教員が本学に定着できるよう検討していくべきである。
- ・ 8号委員は必ずしも副学部長ではなく、大学全体を見渡せる人を選出するという話だが、全体を見渡せる人が副学部長になっているということもあり、重複する可能性がある。
- ・ 評議員になると仕事の分担も増えてくる。8号委員で誰を出すかは、業務のバランスを見ながら検討することになるだろう。
- ・ 学部長、副学部長が決まる時期と8号委員の選出の時期はどちらが先なのか。
- ・ 学部長、副学部長の方が先になる。
- ・ 学長選考・監察会議委員が選出される基となる教育研究評議会に、学長指名ではない評議員を入れるというのは大事な方針。選出方法を学部に一任した場合、学長指名の部局長が推薦することになり構造として変わらない。教授会の推薦や投票などを検討いただきたい。
- ・ 選出方法を学部丸投げするのではなく、大学としてある程度決めてもらった方がよい。
- ・ 改正案は、自由度はあるが十分対応可能な内容だと考える。
- ・ 教授会で選出される8号委員は、部局長と必ずしも同じ意見ではない。教育研究評議会でも部局長の意見を述べる際、部局意見が分かれることが懸念されるのではないか。

- ・ 部局の意見は部局長から述べていただく。教育研究評議会は部局の意見を集約し合意形成する場ではないため、8号委員や9号委員が所属部局のポリシーと違う発言をしてもよいと考えている。
- ・ 教授会推薦で選出された人は学部代表という意識を持つだろう。部局代表とは別の視点でコメントをするのは9号委員になるのではないか。
- ・ 教授会推薦であれば、やはり学部を代表していくことになるため、二重構造になることを懸念している。部局長と異なる意見になる可能性もあるため、整理が必要ではないか。
- ・ 8号委員は、教育・研究・社会連携・医療等で高い見識を備え、全学的な視点で発言してもらえる方という基準で推薦する。結果として副学部長と重なるかもしれないが、教授会で推薦する際に、副学部長を除外しないということを示してもらえれば問題ないとする。
- ・ 教授会推薦にした場合、女性20%という目標が満たせなくなる可能性が高い。20%を満たすため、9号委員を増やし、評議員数が非常に多くなるのではないか。
- ・ ジェンダーバランスをいかに解決するかは引き続き検討していきたいが、評議員の人数が増えるということに関しては、オンライン出席も可能であるため問題ない。
- ・ 「8号委員は部局長と別のジェンダーにする」と定めれば、人数を増やす必要はないのではないか。

3【協議】山形大学における質の高い研究時間の確保に向けたアクションプランの策定について
花輪理事から、「質の高い研究時間の確保について（提言）」及びキャンパス執行部との意見交換を踏まえ、質の高い研究時間の確保に向けたアクションプランを策定することについて審議願うものである旨説明があった。

次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に係る主な意見及び質疑応答は以下のとおり。

- ・ 名誉教授に基盤教育を担当いただく際は、カリキュラムが大幅に変わっているため、基盤教育院長並びにカリキュラム担当の責任者と打ち合わせの上、合意を得てから依頼するようにしてほしい。
- ・ 入試や教育を検討する際に、このアクションプランを一番優先して考えていくという位置づけなのか確認したい。
- ・ 例えば入試問題であれば、入試問題で一番機能するよう検討いただくのが最優先。研究時間確保を優先して変えましょうというものではない。問題提起をして、検討いただいている段階である。
- ・ 研究専念日には学内会議を開催しないとのことだが、学内会議の定義を確認したい。
- ・ 各部局から委員を出している全学会議を想定している。
- ・ 附属病院は金曜日にも診療しており、それに伴う必要な会議も出ることをご了承願いたい。
- ・ 金曜日の会議をすべてやめてほしいという趣旨ではないことをご理解いただきたい。

4【報告】令和6年度山形大学総合型選抜Ⅰ・Ⅱの志願状況について
出口理事から、議題に関して、報告があった。

5【報告】令和5年度入学者選抜における入試ミスについて
出口理事から、議題に関して、報告があった。
資料の一部については、個人情報等の記載があるため、会議終了後回収された。

6【報告】令和6年度学部・研究科の入学定員について
花輪理事から、議題に関して、報告があった。

7【報告】令和6年度概算要求について
根本理事及び瀧澤理事から、議題に関して、報告があった。

8【報告】教育研究費等の不正使用防止に関するコンプライアンス教育研修の受講状況について
根本理事から、議題に関して、報告があった。

9 【その他】 安否確認システムの導入について
花輪理事から、議題に関して、説明があった。

本件に係る主な意見及び質疑応答は以下のとおり。

- ・ メールアドレスの登録等は、あくまで依頼か。拒否された場合は部局長が説得するのか。
- ・ 構成員全員関係の安否を確認するのが原則であり、最終的に業務命令を出して 100%にした
い。
- ・ 様々なシステムがあり、アクセス先もパスワードもそれぞれ別で煩雑である。システムの一
本化という根本的なところも検討いただきたい。
- ・ あるシステムでパスワードが奪われても他のシステムまで影響しないというメリットもあ
る。そういった点も考慮しながら、煩雑にならない形を検討していきたい。

10 【その他】 他機関における研究費不正使用事例について
根本理事から、議題に関して、説明があった。

11 【その他】 令和 5 年度第 1 回顧問会議について
玉手学長から、顧問から本学に対する意見等について、説明があった。

今回は、令和 5 年 10 月 11 日（水）に開催することとなった。